鹿児島純心女子大学・大学院　広報誌

発行日／2011年12月1日
編　集／鹿児島純心女子大学 広報委員会
印　刷／株式会社オフセット

No.22
2011.12

天辰（あまたつ）

Pure Wind

中国常熟理工学院と友好大学協定調印

薩摩川内市と中国・常熟市の友好都市締結20周年記念事業として、10月26日(水)～29日(土)に薩摩川内市の訪中団37人(薩摩川内市公式訪中団17人・川内商工会議所経済交流団15人・薩摩川内市女性交流団5人)が中国・常熟市を訪問し、松下栄子学長と田原良子准教授も訪中団の一員として参加しました。

常熟市では記念式典・祝賀会をはじめ、商業施設や観光地巡りを行い、これまで交流に関わった市民の皆さんと親睦を深め、今後の両市の発展を誓い合いました。祝賀会では、常熟理工学院で日本語講師を勤める亀田かおりさん(本学卒業生)と、常熟理工学院日本語学科で日本語を学ぶ学生数名が通訳として活躍しました。

10月27日の鹿児島純心女子大学・常熟理工学院友好大学締結調印式は、常熟理工学院会議室にて終始和やかな雰囲気の中で執り行われました。今後の両大学の教育・科学・文化交流活動を促進することを目的とした友好大学協定を締結し、松下学長と常熟理工学院学長が両大学の発展を願い、固い握手を交わしました。

常熟理工学院は、12の学部からなっており、工学、理学、文学、管理学、教育学など44の学科があり、学生は1万7千名程の大学です。

調印を結ぶ両学長

学長同士固い握手

本学と常熟理工学院は、今後、話し合いを重ね、両大学間交流を図っていきます。また、12月には常熟理工学院の方々が来日され、薩摩川内市や本学を訪問する予定になっています。

教員養成センター活動報告

●地域連携プロジェクト

本学では昨年度「教員養成センター」を設立し、実践的指導力を有する教員を養成するため、教職課程カリキュラムを全学一元的に企画運営する等、教員養成の充実を図っています。

教員養成センターの目的は「こどもたちに範を示すことのできる教師」、「教師として成長し続ける教師」、「教師と呼ぶに値する教師」を養成することにあります。

そのような目的を達成するため、本学では薩摩川内市との連携協力の下、数多くの初の新しい教員養成のスタイルとなる「地域連携教育プロジェクト」をスタートすることになりました。

教育実習に先駆け1年生から参加できる本学独自の学校インターンシップ(今年度実施)や、ほぼ1年間にわたる教職フィールドワーク(次年度実施)などのプログラムを通して、本学での学びを学校における実践知へしっかり繋ぐことのできる人材を育てていきます。

●学校インターンシップ

学校インターンシップとは、4年次に履修する教育実習に先駆けて、1年生以上を対象に実施するもので、教育現場での観察実習により、教師の視点を養います。大学での学びをこどもたちの個性や能力を伸ばす実践力として機能させることを目的としたものです。

学校インターンシップでは、9月の5日間、22校に74名がお世話になりました。学生たちは受入先のきめ細やかな配慮の下、複数のクラスの授業見学や、保健室での養護教諭業務の見学、さらには運動会などの学校行事のお手伝い等、校務全般について学びました。

学生の実施報告として、「教員という仕事の大変さにばかり目を向けていたが、素晴らしさに気付いた」「5日間の実体験は貴重なものだった」「教員の幅広い業務を知った」「コミュニケーション能力や冷静さなど、自分に欠けているものを認識できた」「携わっていただいたすべての方々に感謝している」など、が挙げられました。

学校(園)を教師としての視点に立って観察することにより、あらためて教職の責任の重要さと職域の広さを知り、自分の課題発見やモチベーション向上に繋がったようです。

来年は学生たちが1年間を通して、学校現場を体験する『教職フィールドワーク』も始まります。地域との連携の下実施される取組みの成果に、ますます期待が持てます。

●ホームカミングデー

8月6日(土)に、本学卒業生を対象とした「ホームカミングデー」を開催し、49名の卒業生が参加しました。

小学校教諭「特別支援・保健体育・養護教諭」「栄養教諭」「家庭科教諭」の4分科会を設け活発な意見交換が行われました。

卒業生からは「初心に戻ることができた」「講演で新しい知識を学べたり、分科会で有意義な討論ができたりとても勉強になりました」「学ぶ機会をいただき、絆を得ることができました」「普段から思っていることや悩んでいることも話すことができ、嬉しかった」「いろいろな先生方とお話や意見交換ができ、今後の学校現場に生かしていきたいと思いました」などの感想のほか、本学に望むことなどの意見もありました。

本学教員養成センターの役割・教師として成長し続けることのできる確かな基盤づくり」を考える貴重な機会となりました。

●教員採用試験結果

平成24年度の教員採用試験結果が発表されました。

本学関係では、鹿児島県の中学英語に1名、高校家庭科に1名、特別支援学校英語に1名、その他にも、京都府の小学校に1名、奈良県の高校家庭科に1名、沖縄県の養護教諭に1名の計6名が合格しました。

本学では例年、1次試験対策講座、卒業生も含めての1次合格者に対する2次試験対策講座を実施しています。実践力の高る教員の養成を目指して更に支援を強化しています。

教員採用試験合格報告

鹿児島県高等学校（家庭科）
東　由里絵さん
健康栄養学科4年
（川内高校出身）

私はこのたび、鹿児島県教員採用試験に合格することができました。高校生の頃から教師になりたいと思い続けていたので、合格できたことを心から嬉しく思います。

今回私が合格できたのは、大学の先生方、家族、そして共に支え合った友人がいたからだと思っています。大学入学時からの4年間では、インターンシップや地域貢献活動に参加し、教師の喜びや人と触れ合う楽しさを感じたことはもちろん、日々の講義では現場ですぐ働くことのできる教師を目指し、多くの知識や専門性を学んできました。本学では、試験を受ける際に様々な対策を組んでくださり、特に2次試験対策では5日間かけて面接から被服実技まで集中して対策をしていただきました。より本番に近い雰囲気での練習だったので、当日は落ち着いて試験に臨むことができました。また同じ教師という夢を持ち、苦しいときも励まし合い共に頑張った同士の存在も私を支えてくれたと感じています。

あらためて大学の先生をはじめ多くの人々に感謝し、今後は自分の未熟さを認め、常に学ぶ姿勢を持ち、私自身が周りの人を支えることのできる教師になりたいと思っています。4年前、鹿児島純心女子大学に入学して本当に良かったと、今、心から感じています。

京都府小学校
柳田　優美さん
こども学科4年
（宮崎・日向高校出身）

私は、京都府の教員採用試験を大学推薦で受験し、無事に合格することができました。試験内容は、小論文、個人面接、模擬授業、実技試験と盛りだくさんで対策をするのが大変でした。しかし、先生方が丁寧に指導してくださったおかげで最後まで頑張ることができました。

私が小学校教員を志すようになったのは、大学3年生の夏でした。それまでは、自分が何になりたいのか分からず、悩むこともありました。しかし、数多くのボランティア活動や学校インターンシップを通して自分と向き合うことができ、将来の夢を真剣に考えられるようになりました。この経験は、面接でも活かせたので様々な事に挑戦してきて良かったと思いました。

現役合格は難しいとよく聞きますが、私は本気で目指している人は合格できると思います。私は、教員になると決めてからすぐに試験内容等の情報収集に取り掛かり、過去問を分析し、春休みは毎日10時間勉強していました。私が頑張れたのは、昨年合格した先輩からのアドバイスがあったおかげです。身近に夢実現のために努力している人がいたので、良い刺激になりました。

合格がゴールだと思っていません。これからが本当の勝負だと思います。残りの大学生活を楽しみつつ、教師の資質を育むために自分磨きに専念したいです。

第18回　大学祭　White Lily Festival

一つになろう！純心Girls ～笑顔の花が届くように～

◆◇◆ 学生の笑顔あふれた大学祭 ◆◇◆

実行委員長
増永　美香さん
英語コミュニケーション学科
3年
（鹿児島純心女子高校出身）

突然の雨に見舞われながらも第18回White Lily Festivalを10月29日・30日に無事終了することができました。今年は『一つになろう！純心Girls ～笑顔の花が届くように～』を大学祭テーマに掲げ、東日本大震災で被災された方々のためにもまずは学生一同が一つになって周りにいる人たちに笑顔や元気を届け、その笑顔の輪が広がることで、日本中へ幸せを発信できる大学祭にしたいという思いを込め、企画・準備に励んでまいりました。

今年の大学祭の特徴としましては、学生だけでなく幅広い年齢層の方々に楽しんでいただきたいという思いから、地域の皆様の協力の下、フリーマーケットゾーンを設けました。またステージでは昨年大好評だった薩摩川内おどり太鼓さんの太鼓パフォーマンスの他、鹿児島第一工業大学の沖縄県人会の皆様によるエイサー等によって大いに盛り上げていただきました。また薩摩川内市内外からの外部出店も例年より多く、地域の皆様と共に大学祭を作っているのだと実感し嬉しく思いました。毎年、九州電力株式会社のご支援によりお招きしているゲストは、今年は、様々なジャンルで活躍中のドキュウ・トリオさんをお迎えし、クラシックコンサートを開催しました。また本学のメインゲストには吉本興業の中川家さん等3組お迎えし、観客の皆様の笑顔を見ることができ、大変嬉しく思いました。

今年5月に大学祭実行委員を結成し、思うように進まず、悩み、立ち止まることもありましたが、先生方や友人、家族に助けられ、乗り越えることができました。決して学生だけの大学祭ではなく、皆様の協力あっての大学祭です。

大学祭を開催するにあたり、協力していただいた広告主の皆様、義援金をいただいた皆様・地域の皆様・関係者の皆様、そしてご来場いただいた全ての方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。

魅力的なパフォーマンスを披露してくれた学生達

模擬店での学生の笑顔

小学生を対象に英語の歌やゲームを行いました

大学祭を無事に終えて笑顔の実行委員メンバー

地域交流・地域貢献

～「薩摩川内ほんやまつり」に参加～

艶やかな浴衣姿の学生達

11月6日(日)、真夏のような日差しの下、薩摩川内ほんやまつりが盛大に行われ、64団体約4500名の総踊り連の中に、150名が参加しました。本学は、日頃からお世話になっている市民の皆様への感謝の気持ちを込めて、毎年1年生が参加しています。

お揃いの浴衣と法被姿で市街地を練り歩く姿に、沿道の皆様から、温かい声援をいただきました。さらに、冷たいお茶やお菓子の差しれなど、たくさんの心遣いをいただき、ありがとうございました。

総踊り前には、島津軍と薩摩軍に分かれた武者行列もあり、鉄砲隊や騎馬戦など、まさに戦国絵巻。本学からは、台湾からの留学生が武者行列に参加しました。鎧を身に付け、女武者に変身すると、鎧の重さに驚いていました。日本の文化を実感し、大変喜んでいたようです。

市民の皆様と一体となり充実した一日となりました。

1年生と教職員有志の総勢約150名が参加

～薩摩川内市との意見交換会「かのこゆり会」～

かのこゆり会の様子

薩摩川内市のまちづくり活性化並びに教育的効果に繋がることを目的に、学生と市職員との率直な意見交換の場として、「かのこゆり会」があります。この会は、市と大学との連携を深めるために毎年開催している薩摩川内市大学交流推進懇話会の中で、岩切薩摩川内市長の提言により設置されたもので、会の名称は薩摩川内市の市花・鹿の子百合と本学園の象徴である「白百合」の双方に共通する百合の花にちなんで名づけられ、協働の意志を表すものとなっています。

本学のメンバーは学生会役員の学生及び職員とで構成されています。薩摩川内市で実施している事業の説明を受けたり、市街地見学を行ったりと、学生にとって、地元を知り、行政を知り、そこで自分たちに何ができるか考える機会となっています。空き店舗活用やコラボ商品の開発、情報発信など、若い女性ならではの発想力で積極的に参画し、市の発展に貢献できることを期待しています。

薩摩川内市 市街地見学

平成24年度　入試情報

※詳細は『平成24年度学生募集要項』でご確認ください。

入試区分	出願期間	試験日	合格発表
一般入学試験（第1期）	1/16（月）～2/3（金）	2/14（火）	2/17（金）
大学入試センター試験利用入試（A日程）（国際人間学部、健康栄養学科のみ）		2/14（火）・国際人間学部は独自試験はありません・健康栄養学科は面接のみ実施	
大学入試センター試験利用入試（B日程）	2/16（木）～2/24（金）	3/2（金）・国際人間学部は独自試験はありません・看護栄養学部は面接のみ実施	3/5（月）
一般入学試験（第2期）（国際人間学部のみ）	3/2（金）～3/13（火）	3/21（水）面接のみ実施	3/22（木）
大学入試センター試験利用入試（C日程）（国際人間学部、健康栄養学科のみ）		3/21（水）・国際人間学部は独自試験はありません・健康栄養学科は面接のみ実施	

【問い合わせ先】　鹿児島純心女子大学 入試広報課
〒895-0011 鹿児島県薩摩川内市天辰町2365番地
TEL 0996-23-5311　FAX 0996-23-5030
http://www.k-junshin.ac.jp/jundai/

鹿児島純心女子大学・大学院		学部・研究科名　コース名　定員数	取得可能な資格
学部	国際人間学部	ことばと文化学科 英語コミュニケーションコース こども英語教育コース 中国文化コース 国際文化コース（入学定員50名）	中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語） 小学校教諭一種免許状（他学科履修） 日本語教員養成課程修了書、博物館学芸員 通訳ガイドコース修了証、学校図書館司書教諭 こども英語教育能力認定証
		こども学科（入学定員45名）	保育士、(社)日本心理学会認定心理士、幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状、学校図書館司書教諭 特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者）※ こども英語教育能力認定証、こども英語教師認定証 社会福祉主事（任用資格） ※資格取得のためには基礎免許状として小学校教諭免許状が必要です。
	看護栄養学部	看護学科（入学定員45名）	国家試験受験資格（看護師・保健師・助産師）※ 養護教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状（看護） ※保健師、助産師、養護教諭、高等学校教諭（看護）については選択制 ※助産師については人数制限あり
		健康栄養学科（入学定員40名）	国家試験受験資格（管理栄養士） 栄養士免許証 中学校教諭一種免許状（家庭） 高等学校教諭一種免許状（家庭） 栄養教諭一種免許状、フードサイエンティスト 純心のこころと食生活エキスパート認定証
大学院	人間科学研究科	心理臨床学専攻（財)日本臨床心理士資格認定協会「臨床心理士」養成指定大学院（第1種）認定修士課程・昼間制・男女共学（入学定員10名）	（財)日本臨床心理士資格認定協会「臨床心理士」受験資格 養護教諭専修免許状